



平成29年度
学校給食試食会



平成29年10月3日（火）

岡山県立岡山南支援学校



I. 学校給食について

わが国の学校給食は、明治22年山形県で始まったといわれており、100年以上の歴史があり、学校教育活動の一環として定着しています。

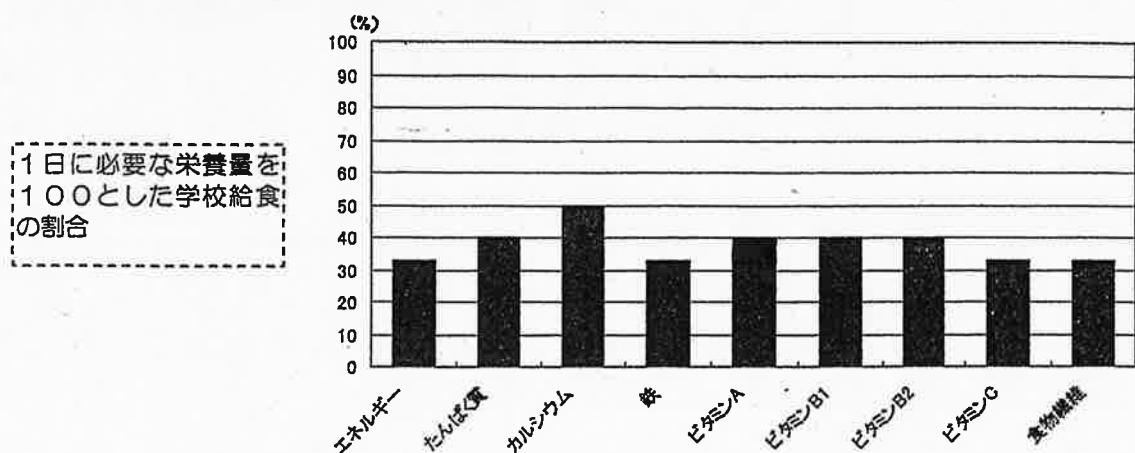
学校給食の目標

(学校給食法より)

<p>食育基本法が成立したのを受け、学校給食法も大きく改正されました。学校給食では新たに、7つの目標を定めました。</p>			
<p>①適切な栄養の摂取による健康増進を図る。</p>	<p>②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むための判断力を培い、望ましい食習慣を養う。</p>	<p>③学校生活を豊かにし、明るい社交性と協同の精神を養う。</p>	
<p>④食生活が自然の恩恵によって成り立つことを理解し、生命を尊重して自然環境を大切にする態度を養う。</p>	<p>⑤食生活がさまざまな人の活動に支えられていることを理解し、勤労を讃嘆する態度を養う。</p>	<p>⑥わが国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深める。</p>	<p>⑦食料の生産、流通、消費について正しい理解に導く。</p>

学校給食の食事内容（栄養量）

(学校給食摂取基準より)



II. 献立について

1. 基本の考え方

(1) 主食、主菜、副菜の基本の食事形態になるようとする。



(2) 旬の食材をできるだけ取り入れる。



(3) 行事に合わせた献立を実施する。



端午の節句、七夕（そうめん汁・七タデザート）、彼岸、月見（秋刀魚・さといも）、冬至（かぼちゃ）、桃の節句、卒業祝いなど。

(4) 児童、生徒の嗜好を考慮する。

食べる様子や残食の様子を通じて嗜好状況を知り、好みな
い献立ばかりの組み合わせにならないようにします。



2. 献立内容

(1) 主食

ごはん 量 70g~100g



岡山県産の精白米に強化米（ビタミンB1・B2が添加されている）が入ったものを使用しています。岡山市内の学校は「ヒノヒカリ」です。

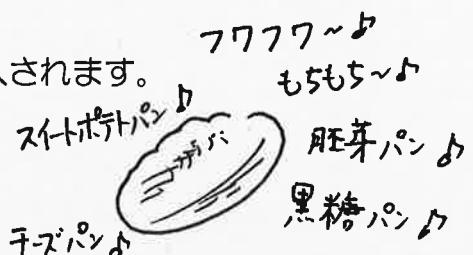
業者が米を炊く方式（委託炊飯）と学校で炊く方式（自校炊飯）があります。本校は、自校炊飯です。

白いごはんの他に、炊き込みごはん、ちらしずし、玄米ごはん、麦ごはんなどあり、種類が多様です。

パン 大きさ 50g~80g 岡山木村屋から納入されます。

☆岡山っ子こめこパン☆

岡山県産の米粉が20%配合されています。



めん 大きさ 60g~100g 吉備長食品から納入されます。

うどん、中華めん、ソフトめんなどがあります。

中華めんとソフトめんは、県産米の米粉が20%配合されています。

(2) 牛乳



山陽乳業から納品されます。

毎食、一人1本200ccがつきます。成長期の大切な栄養源です。

牛乳には生乳の割合などで、牛乳、加工乳、乳飲料（フルーツ牛乳、コーヒー牛乳など）があります。学校給食では、牛乳を使用しています。牛乳は牛からしぼった乳に何も加えないで殺菌したものです。

(3) 主菜・副菜

近年は、和食（焼き魚・納豆・みそ汁）も人気です！

煮物・和え物から、子どもたちの大好きな揚げ物、また、炒め物・焼き物・蒸し物・汁物まで、いろいろな調理方法で多彩なメニューに取り組んでいます。

岡山市学校給食会に加盟しており、新鮮で安全な食材が納品されます。

III. ご家庭へのメッセージ

笑顔のみなみ給食



本校では、栄養士1名、調理員7名で給食を作っています。

子どもたちの、心とからだの健やかな成長を願って、またそのお手伝いが少しでもできたらと思います。「おいしいね！」の声と笑顔を楽しみに、毎日給食を作っています。

“楽しい食卓”は、何にも勝る味付けです。是非、ご家庭でもご協力よろしくおねがいします。

☆ 10月3日（火）本日の試食内容 ☆

今日の給食レシピ ~瀬戸内産たこめし~

【大人1人分材料 (g)】

精白米	75
もち米	15
たこスライス (生たこのぶつ切りでもOK)	40
生姜 (千切り)	3
むきえだ豆 (いんげんなどでもOK)	13
水 [(米+もち米) × 1.1倍弱]	95~100
A 粗塩	0.8
A 酒	3.5
みりん	2
うす口しょうゆ	2

【作り方】

- ① むきえだ豆は茹でておく。
- ② 米ともち米を洗って水に浸す。
- ③ Aの調味料を入れ、軽くひと混ぜする。
- ④ タコのスライスと千切り生姜を上にちらして炊飯する。
- ⑤ 炊きあがったらむきえだ豆を上にちらして完成。
(焼きのりを上にちらしてもよいですよ)

